



サロマ

第145号 平成24年7月

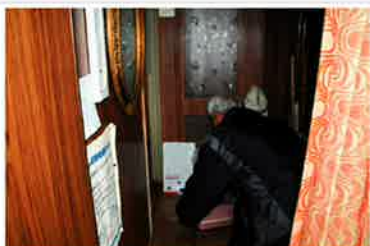
社協だより

発行 社会福祉法人佐呂間町社会福祉協議会 老人福祉センター内 TEL2-3732
公式サイト <http://saroma3732.com>

社協会員募集のお願い

社会福祉協議会では、地域福祉活動に住民の皆さまに参加していただきたいと考えております。社協の各事業、ボランティア活動などに参加して頂くことはもちろん、直接の参加が難しくても、会員になることで、住民主体の活動を支える大きな力になります。

在宅福祉サービス



給食サービス

地域福祉活動



たすけあいチーム除雪活動

ひとりぐらし 高齢者福祉活動



ひとりぐらしの集い

実施期間 7月1日～8月31日

会費内訳	一般会員会費	一口1,000円
	特別会員会費	一口2,000円以上
	法人会員会費	一口5,000円以上

※所得税・法人税法上の 優遇措置について

社協会費は所得税・住民税法上の寄付金控除、法人税法上の損金算入ができます。

平成23年度は **2,506,800円** のご協力をいただきました。

- | | |
|--------------------------|---|
| 1 P・・・社協会員募集のお願い | 4 P・・・事業報告／消費生活相談 |
| 2 P・・・地域福祉実践計画
心配ごと相談 | 5 P・・・決算報告 |
| 3 P・・・事業報告 | 6 P・・・ご寄付／ボランティア指定校
たすけあいチーム／高校車椅子体験 |

社協情報を詳しく知りたい方は

クリック

サロマ社協

検索



この社協だよりは、共同募金の助成により、発行されています

第3期佐呂間町 地域福祉実践計画の 策定が始まります

地域福祉実践計画は、社会福祉協議会が地域住民や様々な機関・団体と相互に協力して策定する民間の行動計画です。

誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりを実現するために、第3期地域福祉実践計画を策定します。

🌀 計画の期間は？

計画期間は平成25年から3年間で、計画の進行状況評価や新たな目標の設定・検討を行っていきます。

地域福祉実践計画の計画期間

H24	H25	H26	H27
策定期間		第3期佐呂間町地域福祉実践計画	
第4期佐呂間町総合計画			

🌀 計画策定の方法は？

(1) 地域福祉実践計画策定委員会の設置

地域福祉に関する活動や事業を行う団体から推薦された方や公募委員による策定委員会を設置します。

(2) 地域住民の福祉・生活ニーズの把握

計画策定の根本となるのが地域の住民や当事者のニーズや意向です。そのためには多くの住民・関係者の意見を集約し、福祉のまちづくりに向けたニーズ把握が必要です。

一人でも多くの皆様のご協力が必要です

誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりをめざす本計画の策定のために、みなさまの「声」をお聞かせ下さい。

※計画策定の進行状況は、社会福祉協議会サイトや社協だよりなどで今後もお知らせします。

相談員名簿

宇佐美 不二夫 (学識経験者)
 天 内 和 子 (社協理事)
 井 上 孝 一 (社協理事)
 増 子 政 信 (民生児童委員)
 今 井 經 二 (行政相談員)
 桑 原 茂 (社協理事)
 藤 原 一 成 (社協理事)
 河 本 孝 治 (生活支援員)

① まず社協にお電話下さい。
 希望の相談員がいる場合はお名前を、いない場合は相談内容をお知らせ下さい。

② 相談員に連絡し、相談室に来て頂く時間を決めます。
 また直接相談員に電話で相談することも可能です。

電話番号 2-3732



ご存じですか?
心配ごと相談

平成23年度 佐呂間町社会福祉協議会事業報告

誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めていくために町民の皆さまからの会費や寄附金・共同募金助成金などで関係機関や団体・ボランティアそして多くの町民の皆さまの参加と協力を得ながら、次の各種事業を実施しました。

法人運営の基盤強化

- ・理事会（3回開催）
- ・評議員会（3回開催）
- ・会計監査（4回開催）
- ・一般、特別、法人会員の加入を促進
- ・役職員等の研修

区 分	件数
役職員会議及び研修会参加	64件
福祉団体への協力及び支援	47件

住民参加による福祉活動の推進

- ・たすけあいチームの結成促進、活動支援
未設置地区への設立奨励活動
たすけあいチームへの運営費助成
代表者会議開催による情報共有
- ・ふれあい広場の開催
福祉団体との協働によるイベント
- ・かまくら雪まつりの開催
子供と高齢者の異世代交流イベント



ふれあい広場



かまくら雪まつり

福祉の資金貸付事業の実施

- ・生活福祉資金貸付相談事業
- ・愛情資金貸付事業
貸付件数5件

福祉事業の推進

- ・給食サービス 登録者15名
- ・在宅高齢者紙おむつ支給サービス
前期15名、後期19名
- ・在宅ひとりぐらし高齢者の集い
年3回実施、延参加者206名
- ・在宅ひとりぐらしふれあい郵便
年5回発行
70歳以上の独居老人に民生児童委員より手渡しでお届け
- ・在宅ひとりぐらし歳末慰問
年越し料理を生活困窮世帯などの対象者に民生児童委員よりお届け
- ・地域老人施設整備事業
高齢者が利用する町内の会館（9カ所）の備品購入費を助成。
- ・福祉関係団体の育成、支援
事務局運営
佐呂間町老人クラブ連合会
身体障害者福祉協会佐呂間分会
佐呂間町母子会、佐呂間町遺族会
事業助成
佐呂間町日赤奉仕団
あやめ会、あゆみ会
NPO法人さわやか（旧共同作業所）
- ・共同募金事業への協力
赤い羽根、歳末たすけあい運動
- ・心配ごと相談等相談支援体制の充実
相談受付平日随時、相談件数12件

介護保険事業・障害福祉サービス事業の円滑実施

- ・ 介護予防訪問介護、訪問介護サービス事業の円滑実施
実利用 227名 / 延利用 1,675名
- ・ 障害福祉サービス事業
実利用 55名 / 延利用 285名
- ・ 生きがい支援事業
軽度生活（安否確認）
実利用 146名 / 延利用 404名
生活指導員派遣事業（生活援助）
実利用 12名 / 延利用 51名
- ・ 在宅福祉移送サービス
通院等利用者
実利用 25名 / 延利用 53名
人工透析利用者
実利用 75名 / 延利用 786名
ペースメーカー利用者
実利用 12名 / 延利用 12名

社会福祉体験とボランティア活動の推進

- ・ 総合学習における福祉体験の実施
車椅子体験、視覚障害体験、他
実施校：佐呂間高等学校
- ・ ボランティア指定校への活動支援
本会指定校に活動費を助成
指定校：佐呂間小学校
- ・ ボランティア連絡協議会との連携・支援
町内ボランティア団体が加盟する
ボランティア連絡協議会の事務局を
運営し、団体への情報提供と連絡調
整を実施。ボランティア参加を支援
- ・ ボランティア講座の開催
スポーツ指導ボランティアや一般住
民を対象とした救急救命講習を開催
- ・ 企業等の地域貢献活動との連携
かまくら雪まつりでの雪像制作や
飲料メーカーの福祉施設への飲料寄
贈など、社協が窓口となり企業の社
会貢献を支援

広報活動

- ・ 社協だよりの発行
町民に有益な地域福祉情報の媒体
として、年6回発行
- ・ 社会福祉協議会公式サイトへの運営
町民に対する福祉情報の迅速な提
供と、社協運営に関する情報開示
を目的としてホームページを運営

指定管理事業の受託

- ・ 老人福祉センター指定管理受託
- ・ 屋内ゲートボール場指定管理受託
公共施設の指定管理者として適切
な運営管理に努めた。

社会福祉協議会内
TEL 2 - 3 7 3 2

■受付日時■
月～金曜日（来所・電話）
午前8時30分～午後5時15分



こんなときにお電話下さい

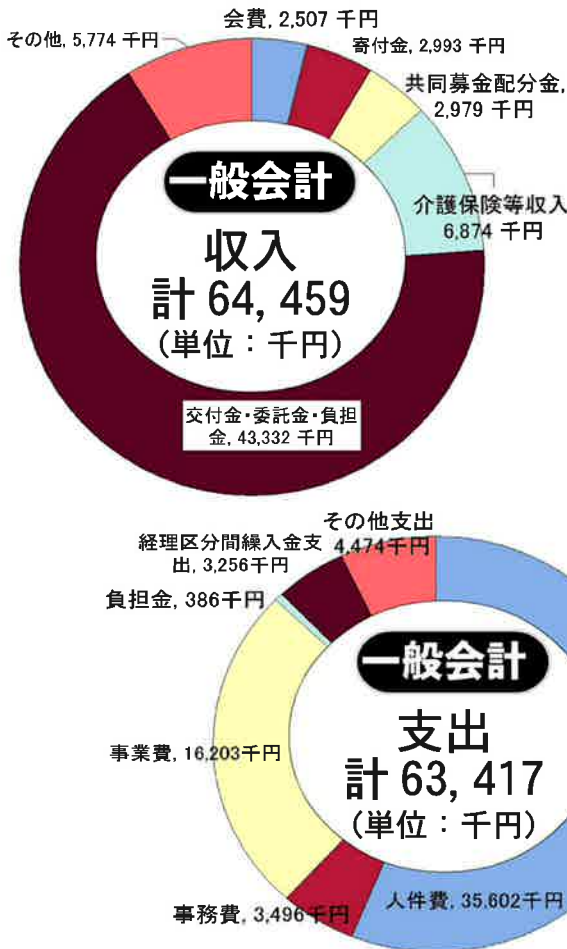
- ・ クーリング・オフのやり方を教えて
- ・ 携帯電話のメールに覚えのない情報
料の請求が来た。どうしたらよいか
- ・ 訪問販売で高額な健康器具を購入し
てしまった。解約したい
- ・ お金を預けると高額な配当金が入る
と言われたが本当なのか
- ・ 消費者金融などに多額の借金がある
が、どのようしたらよいのか
- ・ 知らない業者からダイレクトメール
が届いた。どうしたらよいのか

消費生活相談について

平成23年度 決算報告

決算額 6,341万7千円

資金収支の状況



事業活動収支計算書の要旨

(自 平成 23 年 4 月 1 日～至 平成 24 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

勘定科目		決算額
事業活動収支	収入	
	会費収入	2,507
	寄付金収入	2,993
	経常経費補助金収入	19,977
	助成金収入	94
	受託金収入	17,877
	事業収入	662
	貸付事業等収入	494
	共同募金助成金収入	2,979
	負担金収入	456
	居宅介護料収入	5,721
	自立支援費等収入	1,154
	その他の事業収入	3,603
	利用料収入	542
	雑収入	121
	引当金戻入	1,105
	国庫補助金等特別積立金取崩額	1,290
事業活動収入計 (1)	61,573	
支出		
人件費支出	35,602	
事務費支出	3,496	
事業費支出	16,203	
共同募金助成金事業費	685	
負担金支出	386	
減価償却費	1,563	
引当金繰入	1,132	
事業活動支出計 (2)	59,068	
事業活動収支差額 (3)=(1)-(2)	2,506	
事業活動外収支	収入	
	受取利息配当金収入	16
	経理区分間繰入金収入	3,256
	事業活動外収入計 (4)	3,273
	支出	
経理区分間繰入金支出	3,256	
その他の事業活動外支出	263	
事業活動外支出計 (5)	3,519	
事業活動外収支差額 (6)=(4)-(5)	-247	
経常収支差額 (7)=(3)+(6)	2,259	
特別収支	収入	
	特別収入計 (8)	0
	支出	
国庫補助金等特別積立金積立額	2,016	
特別支出計 (9)	2,016	
特別収支差額 (10)=(8)-(9)	-2,016	
当期活動収支差額 (11)=(7)+(10)	243	
繰越活動収支差額	前期繰越活動収支差額 (12)	6,948
	当期末繰越活動収支差額 (13)=(11)+(12)	7,192
	その他の積立金取崩額 (16)	640
	その他の積立金積立額 (17)	16
	次期繰越活動収支差額 (18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)	7,815

貸借対照表の要旨

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	11,596	流動負債	4,586
預貯金	10,068	未払金	2,459
未収金	1,528	預り金	463
固定資産	34,403	仮受金	1,664
基本財産	1,000	固定負債	12,273
その他固定資産	33,403	負債の部合計	16,859
車輛運搬具	13,703	純資産の部	
器具及び備品	5,038	基本金	1,000
ソフトウェア	1,474	国庫補助金等特別積立金	2,809
退職共済預け金	10,947	その他の積立金	17,515
退職共済積立預金	1,325	次期繰越活動収支差額	7,815
その他の積立預金	17,515	純資産の部合計	29,139
減価償却累計額(△)	17,188		
貸付事業貸付金	587		
資産の部合計	45,999	負債及び純資産の部合計	45,998

あたたかいご寄付をありがとうございます

あたたかいご寄付をお寄せいただき、厚くお礼申し上げます。
みなさまのご厚意に感謝し、地域の福祉活動に活用させていただきます
(平成24年4月19日～24年6月22日)

◎香典返しを廃して

- ・藤岡新吉様 (共立)
- ・本田徳郎様 (川西)
- ・青野利男様 (永代町)
- ・田中仲子様 (宮前町)
- ・藤沼正夫様 (北見市)
- ・惣田栄子様 (仁倉)
- ・石塚美恵子様 (永代町)

◎離町に際して

- ・瀬戸竹安様 (若佐)
- ・玉井清様 (若佐)

ボランティア指定校が 増えました

社会福祉協議会では、これまで町内の学校が福祉活動に取り組みきっかけづくりを目的として、『ボランティア指定校助成事業』を平成十一年より実施してきました。

近年は学校の統廃合などの理由により佐呂間小学校のみの指定でしたが、今年度から新たに浜佐呂間小学校と若佐小学校が加わり、町内での指定は三校に増えました。

指定を受けた学校には、指定校が実施する福祉教育活動の経費の一部助成や、ボランティア活動に関する情報提供、ボランティア体験や福祉体験学習の授業支援などを行います。



たすけあいチーム 全町設立に向けて

たすけあいチームは昨年まで十四地区の設立に留まり、これまで全町設立に向けて地域の方々と調整を重ねて参りました。

今年度に入り佐呂間市街地区と浜佐呂間地区で設立され、いよいよ未設置は残り一地区となりました。

その地区についても現在設立準備が行われており、年内には全町でたすけあいチームが設立されると思われまます。

社会福祉協議会と連携して地域の生活課題や福祉課題に取り組み、たすけあいチームの今後の活躍にご期待下さい。



佐呂間高校一年生 車椅子体験を実施

六月十九日 佐呂間高校一年生(二十九名)による車椅子体験授業が行われました。

前段は体育館で、車椅子の使用法、段差などの介助方法、移乗介助の体験を行ったあと、四グループに分かれて屋外で公共機関や商店、金融機関などに協力をいただき車椅子体験を行いました。

初めて乗る車椅子と慣れない介助に戸惑いながらも、真剣に取り組んでいました。

午後からは、グループホーム夢ふうせん尾崎仁美施設長講師に招き、認知症サポーター養成講座を開催しました。



スーパーの陳列棚で体験です